

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

全日本ろうあ連盟出版物対策研究会議・全国専従職員研修会に参加して

2018年度出版物対策研究会議・第29回全国専従職員研修会に9月6日（木）～8日（土）参加してきました。他県の協会職員の人たちと関わる機会が今までほとんどなかったので、緊張と不安の気持ちがいっぱい状態で、開催地の栃木県那須塩原に向かいました。

1日目は各協会の独自の出版物コンテストや販売・PR方法を発表し合いました。富山県にはまだ無い、それぞれの都道府県の手話表現や建物、偉人の名前の表現方法などを紹介した本があることを知り、いつか富山県でもまとめることができたらいいなあと思いました。販売方法やPRの仕方についても、いろいろな意見がありましたが、なかでも面白かったのは「とにかく目が合った人に本を勧める（目を合わせる）」などの販売手法でした。そのときは皆さん笑って盛り上がりましたが、でもそれは基本的なことであり受け身でただ待つだけではなくて、積極的に本に興味を持ってもらおうとする姿勢や雰囲気作りはとても大事だと思うので、「まったくもってそのとおりだなあ」と思いました。

2日目はキューピー株式会社の講演、舘脇千春氏によるストレス対策とメンタルヘルスについての講演がありました。また協会職員同士の悩みや働き方などを話し合う時間も設けられ、「忙しくてなかなか休みをとれていない」「女性が家庭と両立して長く働けるような環境づくりをしてもらっている」等の意見があり、それぞれに課題や参考になりました。私自身も職員として長く無理なく働けるように、努力が必要だと思いました。夜の交流会もとても盛り上がり、楽しく勉強になった3日間でした。
(松田真奈美)



富山市が「聞こえのサポート講座」を開催。聞こえにくい人の理解と配慮を学ぶ

「富山市高齢者総合福祉プラン」の改定に対して富山市聾啞福祉協会から意見を出した結果、高齢により聞こえにくくなる人を中心に、聞こえの理解や配慮について学べる講座を開催することになりました。10月～12月、3回開催。うち1回は富山県聴覚障害者センターで開催します。講師は富山中途失聴者・難聴者友の会に依頼。対象は、民生委員、地域包括支援センター、介護・福祉サービス事業所、一般市民です。第1回は10月19日、61名集まりました。このような話は初めて聞くという人が多くいました。2時間だけの講座ですが、理解のきっかけになればと思います。

センター利用の実績 9月21日～10月20日

- 来所者合計約533名
聴障者約158名、健聴者約375名
- コミュニケーション支援コーディネート122件
- 電話リレーサービス 8日間70件（手話42、文字28）
- ライブラリー貸出 4件11本
- 相談対応6件 ●部屋貸出48件

★センター運営募金・募集★

郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会

